



三本木



令和8年 1月 7日(水)
石垣市立白保小学校
TEL: 86-7840
FAX: 86-7396



2026 あけまして おめでとうございます



保護者の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の2025年は白保小学校創立135周年でした。マスコットキャラクターの誕生や各種教育活動の様子、そして年末には体育館照明のLED化のニュースが地元新聞に掲載され、一躍脚光を浴びる年になりました。大きな幸運の波が来ているのを感じます。まさに「清き白保の波の色」の校歌のごとく、さぶっ子が清く美しく躍動するような目覚ましい活躍が実現しています。この幸運の波に乗り、今年も子どもたちが自分らしく生き生きと様々な活動ができるような力を身に付けるための教育改革を進めて参ります。白保小学校は、引き続き保護者・白保地域の皆様と手を取り合い、子どもたちの限りない成長を願いながら、今後もより一層「魅力ある学校づくり」に取り組んでまいります。

2026年が白保小学校、そして保護者・白保の皆様にとっても幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

校長 北田 憲司

夢の実現は良い習慣を脳に記憶させること

冬休みが終わり、新しい年明けのスタートとなった6日朝の始業式でまず子どもたちに話したことは、午年(正しくは丙午の年)は「目標をしっかりと立てて進めば大きな実りが得られやすい年になる」ということです。その次に、「頑張る=努力する」ことがなぜ良い結果に繋がるのかということを図を使って説明しました。

(右図を参照) → → →

これは4象限マトリクスと呼ばれるもので、右上のゾーンは頑張った⇒成功体験が培われ、(脳に記憶され)努力する習慣が身に付くパターンです。

右下のゾーンの場合、頑張った

⇒結果が出ないという、一見記憶してはいけないパターンであるかの様に見えますが、実は失敗したことを、「経験」として脳が記憶しています。そこには失敗からの「学び」が生まれ、その後の努力によって成功へつながる確率が高くなっています。逆に最も脳に記憶させてはならないのが、左上のゾーンで、頑張らない⇒結果が出るというパターンです。このパターンを脳が覚えてしまうと、人は頑張る=努力するという習慣が身に付かなくなってしまいます。

努力はしているが、なかなか結果が出ない子どもは失敗することを怖れたり、過去の失敗を思い出したり、あきらめたりするなどの理由で落ち込んだり行動に移せなかったりすることが多くあります。しかし、そこから一歩踏み出すことで状況は明らかに変わっていきます。努力が結果に繋がるためには、右下のゾーンは避けて通れないのです。「頑張る」ことを習慣化していくことで、努力が実を結ぶことに繋がっていくのです。

2026年は、「努力が実を結ぶ年」です。失敗を恐れずどんどんチャレンジしていく人が結果を残せる年です。6年生は卒業して中学へ進学し、その他の学年も心を新たにして4月から再出発する年です。頑張ること=努力することを怠らず、結果を出すことでさらに自分を磨いてほしいと思います。



1月の行事予定

1日(木)元日

2日(金)マンタラーパレード・生年祝い

6日(火)3学期始業式

7日(水)校内書き初め会

委員会活動⑨

12日(月)成人の日(公休日)

14日(水)クラブ活動⑦

15日(木)修学旅行(6年)1泊2日

23日(金)漢字検定②

29日(木)さぶっ子食堂 OPEN 7:30~

※白保っ子発表会…2月6日(金)



さぶっ子の活躍 各種大会コンクールの入賞

MOA美術館沖縄児童作品展

【絵画の部】銀賞 2年 前盛 善虎

第90回八重山地区ミニバスケットボール冬季大会

【女子の部】2位 4年 城村 仁菜

第73回全琉図画作文書道コンクール

【書道の部】優良賞 5年 嘉弥真 璃紅

優良賞 5年 大道 璃保奈

第93回全国書画展覧会

【書の部】特選 4年 嘉弥真 瑞紗

特選 2年 嘉弥真 楓笑

金賞 6年 三島 春那

金賞 5年 嘉弥真 璃紅

金賞 3年 森 悠介

銀賞 6年 宮良 陽葵

銀賞 2年 多宇百合香

特選作品
のみ掲載
しています



四年 嘉
弥真
瑞紗

花

二年
かやま
ふう

上

【画の部】

特選 4年 嘉弥真 瑞紗
金賞 6年 友利 茅寿
金賞 5年 神里 鈴
金賞 2年 友利 緒寿
金賞 2年 大田 喜子
銀賞 2年 大道 しんの介
銀賞 2年 嘉弥真 楓笑

